

明倫の里 城北

未来へ向けたまちづくり

IV



城北コミュニティ



はじめに

日本社会の中で少子高齢化が進んでおり、城北地区でも高齢者の割合が高くなってきています。明倫の里城北「未来に向けたまちづくり」第4次も令和7年度から11年度の5か年は、地域住民の安全・安心を基本理念として進めていくこととします。

古い町ゆえに若い世代の郊外への転出を少しでも防ぎ、親、子、孫と三世代が仲良く住んでもらうために「三世代の住みよい町明倫」をスローガンとして、すべての人が住み慣れた地域で生涯を心豊かに過ごせることを心より願っています。

また、最近では日本の各地で地震が多発しており、南海トラフ地震も遠い先の話ではなくなりつつあります。香川県の中でも丸亀は非常に幸運といえますが、大きな災害を最近は受けていません。ましてや人生100年時代となればなるほどなおのこと、災害に対して十分な備えが必要です。避難訓練、防災訓練を行い地域の減災活動に役立てたいと思います。そして今回のまちづくり計画にSDGs17の目標を照らし合わせ、意識を持って取り組んで行きたいと考えています。

- 《活動目標》
- 1 社会福祉の充実
 - 2 防災・防犯対策の充実
 - 3 健康づくり運動の推進
 - 4 学校支援ボランティアの充実
 - 5 教育文化活動と生涯学習の推進
 - 6 自治会加入促進とコミュニティ活動への参加
 - 7 関係機関との連絡調整及び協力
 - 8 城北コミュニティの目標達成に必要な事業の実施

「明倫の里 城北」
会長 砂本 健

明倫の里 城北

城北コミュニティは「明倫の里 城北」が正式名称です。丸亀藩5代藩主・京極高中公が藩校正明館に与えた自筆の「明倫」の扁額が城北小学校に伝えられ、コミュニティの扁額に由来しています。明治初めの丸亀には風袋町の「敬止堂」をはじめ、私塾や寺子屋などが二十数校があったといわれます。約10校が、この地域にあり、藩政時代から明治時代まで城北地区が「明倫の里」だったことが分かります。私たちはこの伝統を受け継ぎ、次代に引き継がなければなりません。

「明倫」とは、孟子の滕分公章句にある言葉で、「人間として成長するには先ず教育が大切であり、そのために学校を設け、人倫を明らかにして学ぶことが肝要」との意味です。「明倫」の扁額は正明館、明倫館を経て丸亀郷校、第一小学校、亀湾小学校、そして城北小学校に受け継がれてきました。平成27年3月、新しい校舎が完成しましたが、「明倫」の精神は今も同校に掲げられ、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

この精神が次の世代、その次の世代の児童の心に生き続けることを願わずにはられません。そんな子どもたちの安全安心な学校生活を、私たち大人がサポートしていきたいと思います。「城北地区で生まれ、育ってよかった」。将来にわたって、みんなの明るい笑顔に出会えることが、城北地区に住む私たちの願いではないでしょうか。



明倫の額



目次

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

I 概要

城北地区の歩み・戦後の出来事	6
人口構成及び人口動態	9

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

II まちづくりのプラン

各部会のまちづくり実行計画

【総務部会】地域住民の安全安心	12
【環境部会】環境美化と地域の防犯力向上	14
【福祉部会】すべての人々が幸せに暮らせるまちづくり	16
【文化部会】文化は私たちの生活や地域社会の基盤	18
【広報部会】地域の皆さんへコミュニティ活動の周知と情報の伝達	20
【体育部会】運動やスポーツで心身ともに健康で活力ある生活の実現	22
【保健部会】健やかな心とからだでいきいき生活	24
【愛育班】地域に暮らすすべての人の健康づくり	27
【自主防災会】住民一体となって災害に備える地域を目指して	28
【城北老人クラブ連合会】仲間とともに、一層の活発な活動	30
城北地区まちづくり計画Ⅳ策定委員会・城北コミュニティ「明倫の里 城北」構成団体	31

1 清水神社
文政元年(1818)に祀られたと伝えられています。清水大明神を祀った社が、土器川の氾濫で流されてしまいました。その同じ年に庄屋が神のお告げを夢に見て、その地点を掘ったところ、めずらしい石が出てきました。村民は大いに喜んで、これを祀り清水大明神として崇敬しました。神社のそばにある清水は、神功皇后ゆかりの泉とされ、この湧き水を神として祀ったとされています。

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

I 概要

城北地区の歩み・戦後の出来事

西 暦	年 号	
1945年	昭和20年	終戦（8月） 旧西練兵場で兵器等の処理中に爆発事故発生。1人死亡、十数人負傷。土居町や風袋町、葭町、瓦町などで爆風被害（11月） 現在の城東町にあった旧東練兵場で開墾始まる
1946年	昭和21年	米屋町商工会館に国の四国地方商工局誘致（6月） 南海大地震発生（11月）
1947年	昭和22年	消防団誕生（8月）
1949年	昭和24年	土器川河口近くに国道11号線の蓬萊橋開通（6月）
1950年	昭和25年	金子正則氏（城北小学校卒）が県知事に就任。6期24年にわたって県政を担当（9月）
1951年	昭和26年	東中学校開校（4月）
1952年	昭和27年	平山保育所開設（4月） 丸亀競艇場でボートレース開始（10月）
1953年	昭和28年	土居保育所開設（10月）
1955年	昭和30年	城北幼稚園開園。東幼稚園の分園から独立（3月）
1956年	昭和31年	香川労災病院が診療開始（4月）
1959年	昭和34年	丸亀税務署（御供所町）が大手町の現庁舎に移転（4月）
1963年	昭和38年	琴参電車が廃止。土居町の坂出線・渡場駅も役目終える（9月）
1964年	昭和39年	丸亀市内の電話がダイヤル式に変換（10月）
1966年	昭和41年	琴参電車軌道跡を利用、蓬萊橋が県内で初めて4車線の複線橋に（9月）
1968年	昭和43年	予讃線高松～多度津間の無煙化で蒸気機関車姿消す（4月） 2級河川の土器川が国管理の1級河川に（4月）



城東町開墾地での田植に集まった人たち

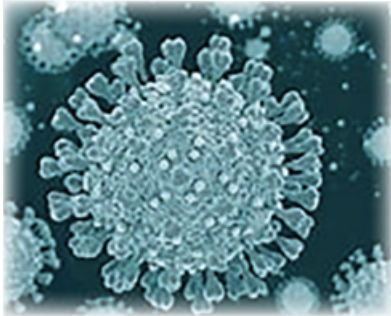


廃止を前に全線で走った琴参の花電車

西 暦	年 号	
1971年	昭和46年	フェリー通り（丸亀港線）が市道から県道、県道の通町商店街（通町線）が市道に
1972年	昭和47年	城北地区でも都市ガス供給エリア拡大
1978年	昭和53年	「東汐入川緑道公園」開園（3月） 土器川潮止せき完成（3月）
1984年	昭和59年	県立丸亀病院が北平山町から土器町へ移転（2月） 県道33号高松善通寺線・京極通りの整備進む 県道203号丸亀港線・通称フェリー通りも
1987年	昭和62年	城北小学校創立100周年記念式典（5月）
1988年	昭和63年	新丸亀駅開業（3月） 瀬戸大橋開通（4月） さぬき浜街道が暫定2車線で全線供用開始（11月）
1989年	平成元年	元号が「昭和」から「平成」へ（1月） CVC中讃ケーブルビジョンが放送開始（11月）
1991年	平成3年	城北地区の下水道整備完成（3月） 猪熊弦一郎画伯の画業をたたえ、地域の美術振興などを目的にした丸亀市猪熊弦一郎現代美術館オープン（11月）
1993年	平成5年	予讃線高松～多度津間が複線電化に。丸亀駅周辺高架事業で城北地区の全踏切を撤去（9月）
1995年	平成7年	阪神淡路大震災発生。丸亀は震度3（1月）
1998年	平成10年	城北コミュニティ発足（5月）
1999年	平成11年	城北コミュニティセンター開設（10月） 丸亀東映（魚屋町）の閉館で市内から映画館が姿消す
2004年	平成16年	台風16号による高潮で富士見町、御供所町で住宅など浸水（8月）
2007年	平成19年	丸亀市消防団第1分団屯所、瓦町から御供所町に新築移転（4月）



旧丸亀駅舎

西 暦	年 号	
2009年	平成21年	丸亀競艇「ブルーナイター」スタート。夜間開催は中四国の公営競技場で初（4月）
2011年	平成23年	東日本大震災発生（3月）
2014年	平成26年	さぬき浜街道土器川大橋西詰～港町間の4車線化が完成（3月）
2015年	平成27年	城北小学校新校舎完成（3月） 終戦70周年・丸亀市非核平和都市宣言10周年を記念し、緑道公園に被爆樹木二世のアオギリとクスノキを植樹（8月）
2017年	平成29年	通学路上に歩道橋が3橋完成（3月） さぬき浜街道(H26.3月)、富士見町(H28.10月)、土居町渡し場(H29.3月)
2018年	平成30年	「東汐入川けんこう公園」開園（4月） 「丸亀城」の石垣が崩落（10月）
2019年	平成31年	城北幼稚園閉園（3月）。平山保育所の「城北こども園」への移行（4月）
2019年	令和元年	「平成」から「令和」へ改元となる（5月）
2020年	令和2年	新型コロナウイルス（COVIT-19）感染拡大防止のため、政府が緊急事態宣言（4月）外出制限など3密（密閉・密集・密接）を避けるとした  明倫まつり開催中止（3月） 城北コミュニティ総会は書面決議とする（5月） ほくほくふれあいまつり開催見送り（10月）
2023年	令和5年	新型コロナウイルスの感染縮小状況を受け、4年ぶりに明倫まつり開催（3月） 新型コロナウイルスが、感染症法上の5類感染症に移行される（5月） 城北コミュニティ総会（5月）開催。ほくほくふれあいまつり（10月）開催 ボートレース丸亀に、子どもたちの健全な成長とさまざまな世代の交流を促進する拠点「コミュニティパークGRUUN(グルーン)まるがめ」と親子のあそび場「BOAT KIDS PARK Mooovi(モーヴィ)まるがめ」がオープン（5月）

人口構成及び人口動態

令和7年1月1日現在の住民基本台帳による丸亀市全体の総人口は、令和2年1月1日の10万9,347人から1,669人減少しています。城北地区も5,309人から5,254人に減っており、緩やかにはなっていますが、市中心部や周辺地域で人口空洞化が進んでいます。

世帯数を見ると、市全体では令和2年に4万5,349世帯だったのが、令和7年には4万7,217世帯に増えています。城北地区でも、2,519世帯から62世帯増加し2,581世帯

に増えています。子ども世代の地区外流失や親世帯の高齢化や介護施設の転居などで、空き家や空き地が目立っていましたが、新築やマンション建設などにより、世帯数は若干増えています。しかし人口は減っています。

丸亀市をみても、人口減少が続いています。現在、日本全体でも、少子高齢化が問題になっており、人口減少に歯止めをかけるための施策が求められています。

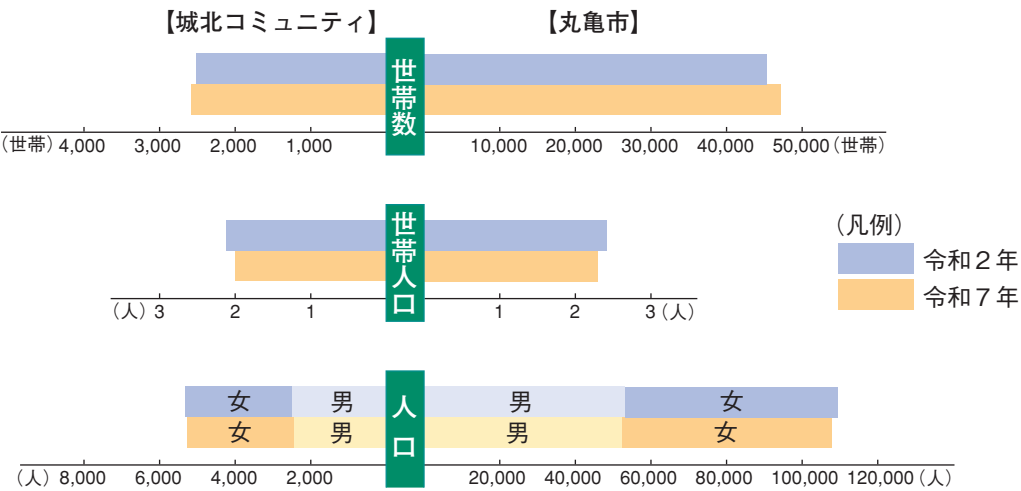
●世帯数と人口

城北コミュニティ

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
令和2年	2,519	2.11	5,309	2,499	2,810
令和7年	2,581	2.00	5,254	2,443	2,811
対比	62		△55	△56	1

丸亀市

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
令和2年	45,349	2.41	109,347	53,056	56,291
令和7年	47,217	2.30	107,678	52,325	55,353
対比	1,868		△1,669	△731	△938



城北コミュニティ「明倫の里 城北」 Ⅱ まちづくりのプラン

まちづくり計画とSDGsの関係

まちづくり計画を実施するにあたって、70の具体的なテーマをSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標に照らし合わせ、各部会が意識を持って取り組む。丸亀市第二次総合計画後期基本計画を参考に70の具体的なテーマをSDGsの17の目標に当てはめた。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域住民と「ふれあい」「活性化」

総務部会

平成22年度にスタートしたまちづくり5か年計画は今回で4期目となります。まず買物支援について協議を重ね令和3年10月より開始、ほくほくふれあいまつりについては経費削減などの改善を実施しました。

「地域住民の安全安心」「三世代の住みよいまち明倫」を4期目の基本理念とし、防犯カメラの設置など、買物支援継続体制の確保、公衆浴場対策、学校支援への協力、ほくほくふれあいまつりと明倫まつりの一本化の検討に取り組みます。

(1) 防犯カメラ等の設置

公園や暗い通学路などの安全確保に問題はないか、丸亀市、城北連合自治会、環境部会などと連携し、城北地区内全域で調査の上防犯カメラ、街灯などの設置を進めます。

(2) 買物支援継続体制の確保

買物支援について令和6年10月より病院への支援(往きのみ)、令和7年1月よりぽかぽか温泉への送迎支援を始めました。ただ運転手は高齢化が進み不足しております。今後継続して支援を実施するために、デマンド交通の検討や運転手の増員が確保できるよう運転手報酬の制度化などを丸亀市の協力を得ながら進めます。



買物支援

(3) 公衆浴場対策

現在公衆浴場は城北地区には無くなりました。買物支援でぽかぽか温泉への送迎を開始していますが、福祉部会とも連携しながら大浴場のあるホテルや福祉施設、フィットネスクラブなどの利用ができないか再度検討し、あわせて丸亀競艇場への銭湯設置を丸亀市へ継続して要望します。

(4) 学校支援への協力

月1回程度の支援がメインでしたが、もう少し発展的に支援できないか役員会などで協議を進めます。支援ボランティアの高齢化対策をあわせて検討します。

(5) まつり

代議員の高齢化、PTAの縮小化もあり、ほくほくふれあいまつりと明倫まつりを一本化して三世代で楽しめるまつりにできないか、プロジェクトチームをつくり時間をかけて検討します。



ほくほくふれあいまつり



明倫まつり

【総務部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
地域の安全安心	防犯カメラ街灯の設置		公園、暗い通学路の安全確保ができているか城北連合自治会、環境部会と連携を取り検討	防犯カメラ設置の可否、設置場所の検討	市などと協議	設置開始
	買物支援継続体制の確保	11 住み続けられるまちづくりを	運転手の高齢化が進み継続するには時間的余裕がない	デマンド交通の可否、運転手確保のため報酬などを市と協議	継続して実施できる運転手の体制協議	継続して実施できる運転手の体制確保
	公衆浴場		公衆浴場が城北地区にはなくなったぽかぽか温泉への送迎開始	大浴場のあるホテル、フィットネスクラブを調査、利用を要請。丸亀競艇場に浴場新設を市に要望	➡	➡
	学校支援への協力	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	月1回の支援など役員会で協議。ボランティアの高齢化	昔遊び、校外学習支援など協議	➡	➡
三世代の住みよい町	まつり	11 住み続けられるまちづくりを	ほくほくふれあいまつり、明倫まつりをそれぞれ開催	高齢化のためまつりを一本化し三世代が一緒に楽しめるまつりを検討（プロジェクト会議開催）	➡	➡

環境美化と地域の防犯力向上

環境部会

清潔できれいなまち、事故や犯罪のない地域づくりのために活動しています。住民の安全・安心を基本理念として、住みよいまちづくりに向けて、ごみの不法投棄ゼロ化、環境美化の推進、地域の防犯力向上などに取り組みます。

(1) 不法投棄ゼロ化、環境美化の推進

①現状

- * 公園、道路、JR高架下、空き地などで、ごみの投棄が見られます。
- * 放置された空き地や荒れ地があります。
- * 環境にやさしい「緑のカーテンづくり」活動を広げています。



緑道公園清掃

②今後の取り組み

- * 環境部会が実施している地域清掃美化活動や自治会等を通じて不法投棄情報を収集し対応するほか、市や関係機関に連絡して撤去などを依頼します。
- * 東汐入川緑道公園やけんこう公園の清掃活動を継続実施します。
- * ごみの分別について、子どもたちを交えた学習会を開催し周知を図ります。
- * 管理が不十分で放置された空き地や荒れ地について、市や自治会などと連携して問題解決を図ります。
- * ゴーヤの種や苗などを希望者に配り、「緑のカーテンづくり」を推進します。

(2) 子どもや地域の防犯力・安全力の向上

①現状

- * パトロール隊では、通学路を重点にいろいろな場所で子どもたちの安全を見守っています。隊員は減少傾向にあります。
- * 安心・安全自転車シートを小学校、こども園の保護者に配布して、子どもや地域の安全を見守る体制づくりを図っています。
- * 空き巣や盗難などの犯罪にあわないよう、個人や地域の防犯力を高める必要があります。



安心・安全自転車シートで「ながら見守り」中

②今後の取り組み

- * 学校や保護者の意見・考えを聞き、呼び掛けてパトロール隊員の増加に努めます。自宅付近で短時間でも見守りできる人の参加を募ります。
- * パトロール隊の「安心・安全自転車シート」を付けて買い物や外出することは「ながら見守り」となり犯罪抑止に有効です。一層の利用を進めます。
- * 防犯対策に詳しい専門講師による講演会を開きます。用心のために必要な方法や事例について学び、チラシなどで防犯知識の周知を図ります。

【環境部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
ごみの不法投棄ゼロ化推進	不法投棄の情報収集と適切な対応	11 住み続けられるまちづくりを	公園、高架下、空き地などで、ごみや動物の排泄物がある	地域清掃美化活動や自治会などからの情報収集及び市担当部局などとの連携対応	➡	➡
環境美化の推進	放置された空き地、荒れ地の環境美化		管理不十分のため、雑草、ごみなどが放置	自治会等から情報を収集し、市担当部局などへ相談、対応を協議	草刈りなどできることから対応	➡
緑のカーテンづくり推進	緑のカーテン効果が高いゴーヤの育成拡大		緑のカーテンづくりの広がりが不十分	ゴーヤの種や苗などを希望者に配布	➡	➡
パトロール隊の再編成	安心・安全自転車シートによる見守り活動の広がりや若年層への呼び掛け	3 気候変動に具体的な対策を	小学校、こども園の全保護者世帯へ安心・安全自転車シートを配布	安心・安全自転車シートの配布及び学校や保護者に見守りについての意見、考えを聞く	保護者などに協力を呼び掛け	➡
地域の防犯力向上	防犯知識の普及	11 住み続けられるまちづくりを	空き巣、盗難などの犯罪への備えが必要	個人、地域の防犯力向上に係る講演会の開催	防犯チラシなどの作成・配布	➡

すべての人々が幸せに暮らせるまちづくり

福祉部会

地域の皆さんが幸せに生活できるまちをめざして、多くの方々と連携しながら活動していきます。

(1) 高齢者福祉対策

①現状

＊城北地区の高齢化率（65歳以上の人口比率）は34.6%（令和6年7月1日現在）で丸亀市全体の29.0%を大きく上回り、年々増加の傾向です。そのため、高齢者対策が喫緊の課題となっています。

＊70歳以上の一人暮らし高齢者の方に対する支援は友愛訪問、敬老会などの実施によりほぼできていますが、二人暮らし高齢世帯の支援は不十分と思われます。

②今後の取り組み

＊行政及び地域自治会長、城北コミュニティの他部門などと継続的な連携を図り、二人暮らし高齢世帯の実態把握に努め、効果的な支援活動を進めていきます。



ほくほくふれあいまつり（受付）



ほくほくふれあいまつり（敬老席）

(2) 障がい者福祉対策

①現状

＊制度上及び取り扱いに細心の注意を要する情報が多く実態把握が不十分です。

②今後の取り組み

＊行政、障がい者団体との連携による情報収集に努め、障がい者の方やその家族との信頼関係を構築し、障がい者支援活動を進めていきます。



敬老会

(3) 児童福祉対策

①現状

＊児童の登下校時における見守り活動の協力、一人暮らし高齢者の方と児童との手紙交流などにより、交流活動を継続しています。

＊主任児童委員との連携がまだまだ足りないと思います。

②今後の取り組み

＊高齢者の方と児童との交流活動を継続・強化していきます。

＊主任児童委員などとの連携を強化し、児童の虐待などを防止し、児童支援活動を進めていきます。

【福祉部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
高齢者福祉対策	高齢者世帯の支援	 	独居老人に対する支援は友愛訪問、敬老会などの実施によりほぼできているが、二人暮らしの高齢世帯の支援が不十分	行政及び地域自治会長などと連携した実態把握により支援活動実施	➡	➡
障がい者福祉対策	支援体制の構築		制度上及び取り扱いに細心の注意を要する情報が多く実態把握が不十分	行政、障がい者団体との連携による情報収集及び家族との信頼関係を構築	➡	➡
児童福祉対策	①地域と児童との交流 ②他組織との連携による活動		児童の登下校時に見守り活動の実施及び一人住まい高齢者と児童との手紙交流 主任児童委員などとの連携が不十分	➡ 主任児童委員などとの連携を強化し児童の虐待などを防止する	➡ ➡	➡ ➡

文化は私たちの生活や地域社会の基盤

文化部会

私たちの日常生活を豊かにするには、地域の人々が楽しさや喜びを実感して、生きがいを感じ、コミュニケーションを図ることが大切です。このため、自分自身の好きな興味があることに参加することで、地域の連帯感や活性化が図れます。

(1) 音楽活動

①現状

＊地域の方々を対象に、音楽療法士による指導のもと音楽活動を実施しています。

参加者全員で、大きな声を出して歌をうたい、タンバリンやベルなどの楽器を持って、楽しく合唱しています。



音楽活動

②今後の取り組み

＊音楽の喜びや楽しさを実感し、脳の活性化、ストレス解消に繋がり、仲間の連帯感ができ、コミュニケーション効果が高まりますので、今後も音楽活動を継続します。

(2) 教養講座

①現状

＊教養講座名で講演を実施しています。内容は、歴史、人物、史跡などの講座を開催し、年2回各分野の専門講師を招いて実施しています。

②今後の取り組み

＊生涯学習の一環として、教養講座のテーマ内容などを検討し、引き続き参加者の増加を図り、継続いたします。



教養講座「井上通女の生涯と文学」



教養講座「遍路用具の変遷」

(3) 暮らしのセミナー

①現状

＊県消費生活センターの暮らしのセミナーを実施しており、トラブルと解決方法、住まいの中の安全対策、相続や遺言、気候問題など私たちの日常生活に密着したテーマで、年2回セミナーを開催しています。

②今後の取り組み

＊講座名を出前講座に変更して、色々な身近なテーマを多く取り入れながら、参加者が多数参加できるように、今後も周知を図り受講者の増加に努めます。



暮らしのセミナー「気候変動と生活防災」



暮らしのセミナー「住宅火災から命を守るために」

【文化部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
文化は、私たちの生活や地域社会の基盤であり、日常生活を豊かにし、人々が楽しさや喜びを実感し、生きがいを感じるために、文化的事業に多くの方が、参加できるようにしていきたい。	音楽活動	 	年4～5回開催 音楽演奏会含む	年4～5回開催し、さらに参加者の増加を目指す	➡	➡
	教養講座		年2回開催 歴史、人物、史跡などの講座を開催	➡	➡	➡
	出前講座		暮らしのセミナーとして日常生活の身近なテーマの講座を年2回開催	本年度より、出前講座名に変更し、年2～3回開催し、幅広く参加者の増加を目指す	➡	➡

地域の皆さんへコミュニティ活動の周知と情報の伝達

広報部会

幅広いコミュニティ活動を重点課題に、地域の行事や各種の情報を発信し、「住み続けられるまちづくり」に関する内容を、広報紙とホームページで紹介していきます。

(1) 広報紙「ともしび」の発行

①現状

＊「ともしび」を年4回発行。1行11字、1段29行、1ページ5段、全4ページ、オールカラー

②今後の取り組み

＊自治会加入世帯を中心に、学校や保育所、こども園、事業所などに配布しているが、コミュニティ活動の周知や自治会加入促進のために、未加入世帯にも届けるよう検討していきます。

③その他

＊広報紙「ともしび」は現在、編集担当者を中心に、各部会の代表7人で毎号の紙面づくりの編集会議、イベントや行事などの取材、写真撮影、原稿の作成、紙面のレイアウトの検討などに取り組んでいます。これからも地域に根ざした情報や身近な話題を取り上げ、読んでもらえる広報誌の編集につとめ、地域の皆さんが「発行が待ち遠しい」と思ってもらえる紙面づくりをめざします。



広報紙「ともしび」



編集会議



取材する広報部会員

(2) ホームページの作成

＊ホームページをリニューアルし、部会の行事や情報をリアルタイムで発信して、地域の皆さんにコミュニティ活動に興味を持っていただき、活動への参加を促進していきたいと思っています。

ホームページの主な内容

- ＊城北地区まちづくり計画Ⅳ紹介
- ＊丸亀市の人口、世帯数などの状況
- ＊生涯学習クラブ一覧
- ＊防災関係へのリンク
- ＊コミュニティセンター休館日



(3) ケーブルテレビへの情報提供

＊中讃ケーブルビジョンを通して地域の皆さんに役立つ情報を引き続き、提供していきます。

【広報部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
コミュニティ活動を重点課題に、地域の行事や情報を広報紙とホームページで紹介	広報紙「ともしび」の発行		年4回発行	➡	➡	➡
	ホームページによる情報発信		随時発信	ホームページをリニューアルし、部会の行事や情報をリアルタイムで発信できるようシステムを構築する	➡	➡
	中讃ケーブルテレビ(CVC)に情報提供		随時発信	➡	➡	➡

運動やスポーツで心身ともに健康で活力ある生活の実現

体育部会

年齢や性別、体力の有無にかかわらず、誰もが手軽にスポーツを楽しみ、「こころ」と「からだ」の健全な発育を促すとともに、明るく豊かで、活力に満ちた生きがいのある生活の実現をめざし、ひいてはスポーツを通しての「まちづくり」を推進していきます。

(1) 老若男女誰もがスポーツを楽しもう!!

①現状

＊令和2年に発生した新型コロナウイルスの影響により活動が休止となりましたが、令和5年より再び活動ができるようになりました。

②今後の取り組み

＊ウォーキング 新春ウォーキングとして、新年の挨拶がてら誰もが手軽に参加できる健康ウォーキングを実施します。

＊ハイキング 桜の季節にお花見を兼ねて、家族そろって参加できるようなハイキングを企画します。

＊ラジオ体操 子ども会とも連携し、子どもたちの健康維持や規則正しい生活をめざして夏休みに実施します。地域みなさんにも参加してもらえよう啓発に努めます。

＊ペタンク 屋外・室内で取り組みます。老若男女を問わず楽しめる競技です。

市内でも大会が開催されており、城北地区としては力を入れていきたい種目です。

＊ボウリング 愛好者が多く、どなたでも楽しめる種目です。大勢の参加が見込め、人との交流の場にもなるので、今後も大会を開催していきます。

＊バレーボール 城北地区ではバレーボールがかねてより盛んな種目です。今では、「ソフトバレーボール」が中心となっており、男女混合の試合も行われるようになっていきます。今後大会を実施していきますので、県や市の大会でも優勝をめざして活躍してもらいたいと思います。

＊インディアカ 城北地区の競技人数が増えつつあり、大会に出場するほどになっています。地区大会が実施できるように働きかけます。

以上の種目のほかにも、「やってみたい」、「興味がある」、「多くの人の参加が見込める」などの種目がありましたら、ご意見をお寄せください。城北地区は、運動やスポーツが手軽に楽しめる地域をめざします。



ソフトバレーボール大会



ラジオ体操



新春おめでとうウォーク

【体育部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
運動やスポーツで心身ともに健康で活力ある生活の実現	ウォーキング		新春ウォーキングと「おめでとう」の挨拶の会	子ども会と連携し、参加者の増加をめざす	子ども会との連携強化	子ども会との連携を定着させる
	ハイキング		桜の花見を兼ね「家族ハイキング」	子ども会と連携し、参加者の増加をめざす	子ども会との連携強化	子ども会との連携を定着させる
	ラジオ体操		夏休みに2回実施	参加者の増加をめざす	➡	➡
	ペタンク		屋外、室内で大会を実施	室内用具を確保	➡	自前の用具で屋外・室内大会を実施
	ボウリング		H30年度から実施	幅広い年齢層に参加を呼びかける	未経験者に参加を呼びかける	➡
	バレーボール		ママさん大会を実施	男女混合チームを含め大会を実施	男性の参加を呼びかける	➡
	インディアカ		週1回校庭開放で練習	競技参加者を募る	➡	地区大会を実施

健やかな心とからだでいきいき生活

保健部会

健康に関心を持ち、いきいきと暮らす3つの目標を定めて活動。近所や知人とのつながりを大切に参加の声かけを行い、健康ポイント制を活用して、地域ぐるみで健康づくりに取り組みます。

(1) 健康に関心を持ち、必要な検診を受診し、健康状態を把握

〈各種がん検診や健康診断などの受診、健康相談参加の声かけ〉

①現状

- *健康教室や愛育だよりで受診の呼びかけをしているが、国保の受診率は市平均より低い。
- *基礎疾患のある人は常に病院を受診しているので受けないという人がいます。

②今後の取り組み

- *働く世代へがん検診・健康診断受診を呼びかけます。
- *基礎疾患のある人にはかかりつけ医、かかりつけ薬局を持ち、必要な検診を受診するよう促します。
- *かかりつけ歯科医を持つよう声がけをします。

(2) よい生活習慣を身につける

〈わいわい教室・健康教室・身体のメンテナンス〉

①現状

- *新しく参加する人も少し増えたが、男性は少なく、センターから距離のある家に住んでいる人も年々来られなくなっています。

②今後の取り組み

- *健康教室などのお知らせを愛育だよりだけでなく、よく見える所にある掲示板に張り出して、情報の届かない人にも周知します。



健康教室

〈料理教室〉

①現状

- *食生活改善推進員を中心に活動しています。
- *コロナ禍以降参加者が減っています。高齢になり料理することが難しくなった人もいますので、一般料理も男性に参加してもらっています。

②今後の取り組み

- *教室は常に男女が参加し、料理をしたことのない人にも参加を呼びかけます。
- *子ども料理は祖父母にも参加してもらい、世代間交流も考えます。

(3) 家族や地域の人とのつながりを大切に

〈すくすくクラブ〉

①現状

- *1歳から保育所などへ子どもが行くため、育休中や1歳未満の子どもが参加しています。

②今後の取り組み

- *妊婦や乳幼児とその家族を対象に実施します。

〈運動のコツ体験教室〉

①現状

- *小学校を通して募集し、縄跳びのコツを体験しました。

②今後の取り組み

- *体験教室は小学校を通して低学年を対象に行っていきます。

〈健康ポイント制〉

①現状

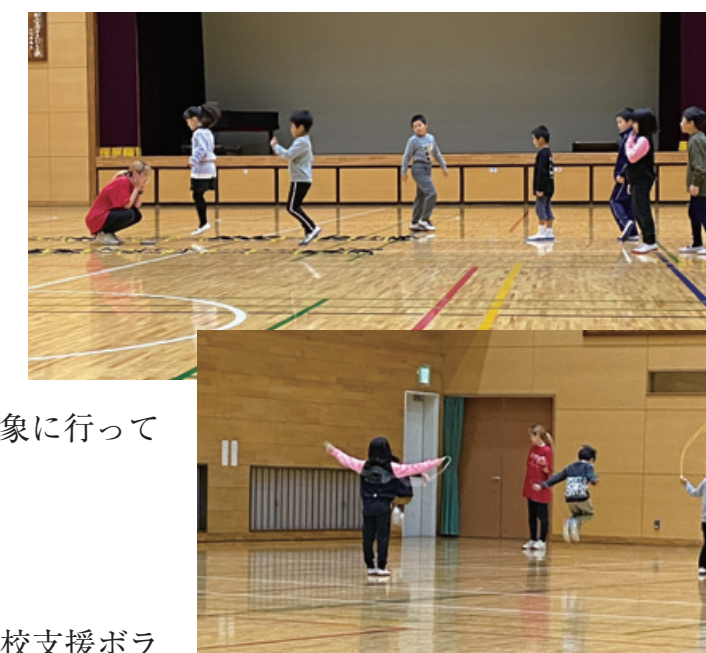
- *文化部、福祉部との協力で実施し、学校支援ボランティアにもポイントを付与しています。

- *センターまで遠いので行事に参加できないから、ポイント制に参加しないという人も多くいます。

健康ポイント



子ども料理教室



運動のコツ

②今後の取り組み

- *検診や予防接種は、ポイントもたまりやすいので受診といっしょに参加を促します。
- *頑張ればできる簡単な健康目標を書いてもらい、できたら5ポイント獲得できる新しい取り組みも始めます。

【保健部会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
健康に関心をもち、検診を受け、健康状態を把握	働く世代へ検診受診の声かけ 高齢者にはかかりつけ医・薬局の勧め		国保加入者の検診受診率は低い。社会保険加入者はそれぞれの会社で受診していると思われる	基礎疾患のある人がかかりつけ医・薬局を持つことの推奨 かかりつけ歯科医を持つことを推奨 働く世代のがん検診受診の呼びかけ	➡	➡
	よい生活習慣を身につけ健康でいるための取り組み 何歳になっても日常生活において動けるからだ作り	3 すべての人に健康と福祉を	回覧周知・掲示板でお知らせ 第2金曜日 9:30～11:30	参加の声かけ推進	➡	➡
	わいわい教室		第3火曜日 13:30～14:30 年4回 年2回	事業を知らない人に声かけ 男性の参加を呼びかけ	➡	➡
	健康教室 身体のメンテナンス		一般3回 男性1回 子ども1回	一般料理にも男性の参加を呼びかけ	➡	➡
	料理教室 ヘルスメイト中心に実施		検診受診を中心に参加を呼びかけ参加することでポイント獲得 150名くらい参加	参加者の拡大、声かけ	参加しようと思ってもらえる内容検討	➡
家族や地域の人とのつながりを大切にする	健康ポイント制	11 住みよいまちづくり	第3金曜日 10:00～11:30	母子に声かけ	➡	➡
	運動のコツ体験教室	3 すべての人に健康と福祉を	年1回小学校1・2年生対象	小学校を通して参加者募集	➡	➡

地域に暮らすすべての人の健康づくり

城北愛育班

地域のみんなの健康づくりを通して、住みよいまちづくりを目指しています。赤ちゃんから高齢の方まで、地域に暮らすみんなの会です。声かけを中心に人と人のつながりを大切にしています。市の助成を受けて保健師と一緒に活動しています。

①現状

- * 世帯加入で会員数は151人。男性も会員として加入しています。
- * 子育て世代は働いており、親子会員は減少。一般会員は、市内在住のお孫さんも参加でき、子ども向けの行事に家族で参加しています。
- * ゴキブリ団子作りや救急講習、体験教室など大人向けの行事も開催。
- * クリスマス会には子どもだけでなく、大人だけの参加も歓迎、お誘いしています。
- * 毎月1回発行の愛育だよりには保健部会の行事も掲載し、会員の家庭に配布します。保健部会と連携して健康教室などの声かけも行っています。



救急講座

②今後の取り組み

- * 愛育班は乳幼児だけを対象にしている会ではないことをもっと知ってもらい、男性や高齢の方にも参加してもらえる事業も考えていきます。
- * 育休中、所属のない母子を対象に独自の子育て広場も設け、お母さんがゆっくりできる場、ママ友作りのきっかけを作りたいと考えています。



クリスマス会



* 声かけが基本の愛育班、防災の観点からも希薄になりつつあるご近所さんとの関係をしっかり築いていきたいと思います。

住民一体となって災害に備える地域を目指して

自主防災会

近い将来発生すると予測されている南海トラフ地震、河川の氾濫に伴う浸水や火災などの災害に備えるには、より一層の防災対策の充実が必要です。

自主防災会は、迅速な防災対策「自助」「共助」という理念のもと、地域住民が協働して、防災活動を行うことで被害を最小限にとどめることを目指します。

(1) 防災に対する知識、意識向上に向けた取り組み

①現状

＊毎年、年末頃の防災訓練、城北コミュニティのHPで自主防災会の取り組みについて広報を行っていますが、取り組みの効果は限定的です。

②今後の取り組み

＊自主防災組織体制の充実を図り、啓発活動の幅を広げていきます。

(2) 避難所運営の機能向上を図る取り組み

①現状

＊自主防災会より県、市などに予算要求を行い、交付された資金で避難所の資機材、食料品などの備蓄、整備に取り組んで来ましたが、十分とはいえない状況です。

②今後の取り組み

＊引き続き資金の獲得に向けた活動、活発に活動を行うための組織の強化に務め、避難所運営の機能向上を図っていきます。



防災訓練開会式

【自主防災会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		SDGs	現 状	令和7年度	8・9年度	10・11年度
地域住民の災害に対する「危機管理能力」向上に向けた啓発と避難所受け入れ体制の充実を図る	災害対策の基本である「自助」「共助」の意識、知識を高める	11 安全な住居と避難場所を確保する 13 気候変動に起因する災害リスクを軽減する	自主防災会において、目的達成のため必要な活動の検討、働きかけを実施しているが十分とはいえない状況	引き続き自主防災会において、必要な検討と住民への働きかけを防災訓練などにより実施していく	➡	➡
	上記を実践するため自主防災組織体制の充実と機能の向上を図る	11 安全な住居と避難場所を確保する	県、市などに補助金の申請を行い、充実化を図っている途上	引き続き補助金などの確保に尽力し、資機材、備蓄品などの充実を図っていく	➡	➡
	避難所運営の機能向上を図る	11 安全な住居と避難場所を確保する	自主防災組織がやや脆弱なため、十分な運営ができるとはいえない状況	自主防災組織の充実化、避難所運営訓練などを引き続き実施する	➡	➡
	要支援者対策の充実化を図る	3 持続可能な開発を推進する 11 安全な住居と避難場所を確保する	要支援者の把握、支援体制がとれる体制となっていない	他の地域を参考に要支援者の把握、支援体制の確立に向けた取り組みを行う	➡	➡



倒壊物からの救助



心肺蘇生

仲間とともに、一層の活発な活動

城北老人クラブ連合会

少子高齢化、人口減少が進み、社会経済や家族、地域といった基本的環境が大きく変化する中すべての

人々が生きがいを感じ、輝くことができる地域共生社会の実現を目指した取り組みが進めてられています。

私たち老人クラブは地域住民や関係組織と連携を図り、行政の理解と支援のもと、さまざまな活動を通して老人クラブの存在意義を高め、仲間とともに一層活発な活動を進めていきます。老人会のメインテーマである「伸ばそう健康寿命・担う地域づくり」をめざします。

①現状

- * 11クラブあり、現在の会員数は466人です。
- * 毎年2月、友愛で古希、喜寿、傘寿、米寿の方々を慰問、祝い品贈呈。
- * 5月、10月の2回、丸亀城一周の歩け歩け運動を実施。
- * 香川県老人クラブ指定の研修会に年2回ほど参加。
- * 丸亀市老人クラブの行事（老人会新聞「ねんりん」発行、スポーツ大会、作品展など）に参加協力。

②今後の取り組み

- * 会員の心配ごと、悩みごとを聞ける窓口を設置。
- * 関係団体と連携し、地域貢献活動に取り組みます。
- * 地域高齢者へ声かけを行い、会員のプラス作戦を推進します。

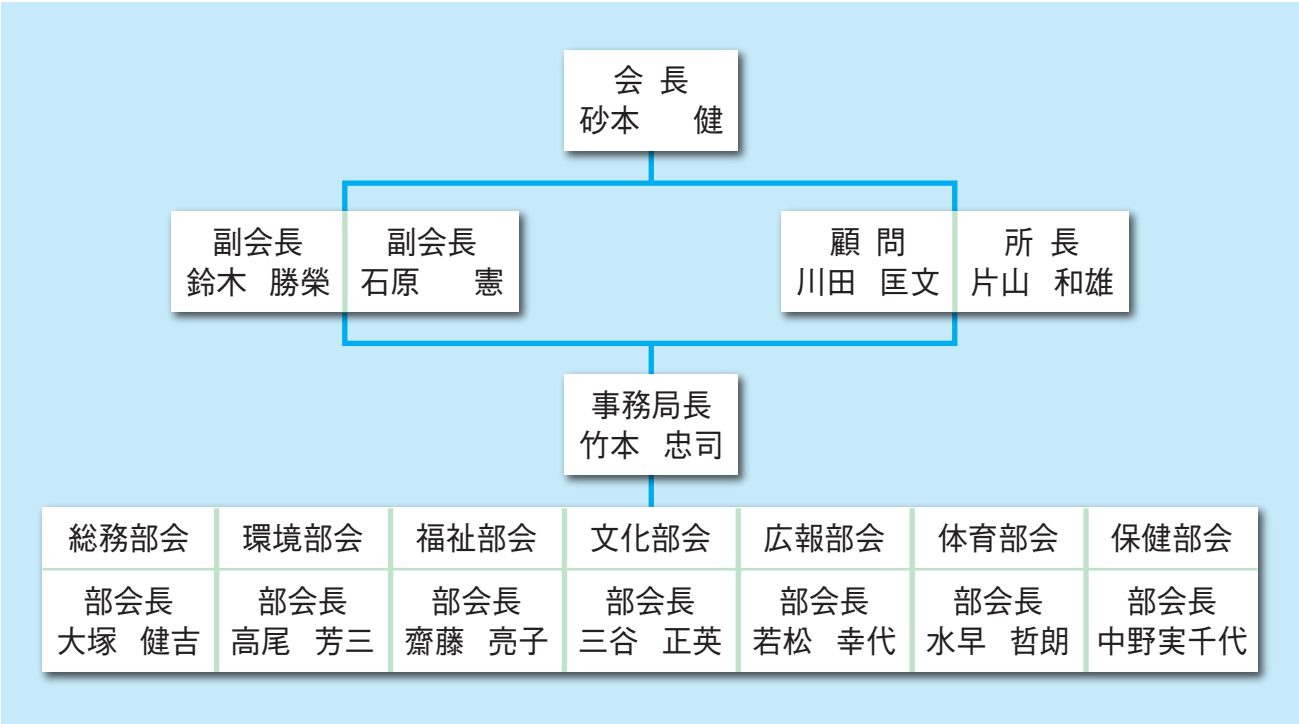


丸亀城周辺の歩け歩け運動



出発前の体操

城北地区まちづくり計画Ⅳ策定委員会



城北コミュニティ「明倫の里 城北」
構成団体

- | | |
|-----------------|----------------|
| 城北地区連合自治会 | 母子保健推進委員 |
| 城北地区民生委員児童委員協議会 | 城北校区子ども会連絡協議会 |
| 城北地区福祉ママ会議 | スポーツ少年団 |
| 城北老人クラブ連合会 | 丸亀市立東中学校 |
| 城北愛育班 | 丸亀市立城北小学校 |
| 丸亀市体育協会城北支部 | 丸亀市立城北小学校PTA |
| 丸亀交通安全協会城北支部 | 丸亀市立城北こども園 |
| 丸亀市消防団第一分団 | 丸亀市立城北こども園保護者会 |
| 丸亀市更生保護女性会 | 丸亀市土器交番・駅前交番 |
| 食生活改善推進協議会 | (順不同) |

明倫の里 城北
未来へ向けたまちづくり Ⅲ

令和7年3月発行

発行 明倫の里 城北
城北コミュニティセンター内
〒763-0014
香川県丸亀市御供所町1-5-20
TEL・FAX (0877) 25-2141

